


2023年度 Hitz 日立造船 現地工事 安全衛生・環境保全管理方針

<p>管理方針</p> <p>「不安全状態」や「不安全行動」を排除するために、安全管理のPDCAを確実に実施する安全管理活動を展開する。現場入場から作業完了に至るまでの手続きや安全ルールを明確に示し、その実践状況について協力会社とともに「重大災害を根絶する」という強い意志を持って安全管理活動を展開する。</p> <p>また、『環境保全推進規程』に基づき関係部門との連携、協力により環境負荷低減に努める</p>	<p>基本方針</p> <p>安全をすべてに優先させ、 みんなが安全で快適に働ける 心の通った職場を目指す</p>		<p>安全衛生スローガン</p> <p>相互注意で危険ゼロ</p> <p>築こう Hitz の「安全文化」</p>	<p>管理目標</p> <p>安全管理</p> <p>：重大災害・休業災害ゼロ 全災害度数率 3.06 (過去5年間平均の30%減)</p> <p>衛生管理</p> <p>：職業性疾病ゼロ</p> <p>環境管理</p> <p>：環境負荷低減 CO₂削減 2022年度比 2%減 廃棄物埋め立て率 3%以下</p>
--	--	--	--	--

重点施策	重点実施項目	実施具体策
1. 重点管理三大災害防止対策の完全実施による重大災害の根絶 (墜落転落・挟まれ巻き込まれ・飛来落下)	(1) 開口部養生と墜落防止対策	1) 足場、仮設通路、作業構台等の組立て解体の作業は、墜落制止用器具を100%使用する 2) マンホール等の開口部は、足場板等の敷設により養生し、注意喚起表示を行う 3) 昇降設備の昇降口には、囲い等を設置し、「昇降口」表示を掲示する
	(2) 挟まれ巻き込まれ危険箇所への立ち入り禁止 挟まれ巻き込まれ危険作業での作業手順検討、周知	1) 重機の稼働範囲は、バリケード等により囲い、「立入禁止」表示をする 2) 機械の調整、清掃、点検は電源切り及び表示の掲示 3) 機械装置の稼働前には周囲及び内部、可動範囲内等の人払いと目視確認・指差喚呼を実施する
	(3) 飛来落下リスクの排除	1) 資機材の運搬および仮置きでは、ロープ固縛、ネット掛け、道具袋を原則とする。 2) 機器、工具は紐等で落下防止を原則とする
2. 安全衛生教育による「安全力」の向上	(1) 管理監督者教育	1) 本社教育制度により定期的に教育を受講する(通信、対面により行い、一定以上の理解度を維持する)
	(2) 協力会社現場責任者教育	1) リスクアセスメントに関する教育を受講する(受講者リストで管理して一定期間で定期に行う)
	(3) 新規入場者教育	1) 安全ルール、KYの実施、熱中症、保護具等について実施(試運転時等での出張者、設計職員を含む) 2) 健康確認(チェックリスト、血圧測定など)を行い、作業員の適性を確認する
3. リスクアセスメントの徹底による危険源の排除	(1) 施工計画段階でのリスクアセスメント	1) 施工計画安全審査においてリスク低減対策の実効性を確認する 2) 残留リスクに対する低減対策を検討する 3) 協力会社の作業手順書を確認し、リスク低減対策の実効性を確認、指導する
	(2) 現場作業着手前のリスクアセスメントとKYミーティング	1) 作業手順書の読み合わせ周知会を行い、リスク低減対策の実効性を確認する 2) KYミーティングでは作業の場所・機器・方法・人の配置を明確に周知する 3) 作業手順の変更が生じた場合は、再度リスクアセスメントを行いリスク低減対策を決定する 4) 現場代理人、監督者は、作業手順、安全対策の実施状況を確認し、指導する
4. 職業性疾病の予防	(1) 危険有害因子の排除、低減	1) SDSに基づくリスクアセスメントの徹底と、適正な機器、保護具の使用 2) 設備・機器・機材の点検整備と更新による、作業環境の継続的な改善 3) 過勤労働によるストレス蓄積の防止および、勤務状況の調査に基づく職場環境の改善(健康確保)
5. 環境負荷低減	(1) 建設現場の環境保全ルールの徹底	1) 市町村条例に基づき、安全衛生・環境・交通のルールを取り決め周知する 2) 施工計画段階で環境負荷低減対策の実効性を確認する
	(2) 環境負荷低減対策の推進	1) 分別収集を徹底し、リサイクル化を推進する 2) 省エネ型建設機械導入の推進および効率的な運用